

2018年6月29日

各 位

会 社 名 夢 展 望 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 濱 中 眞 紀 夫
(コード：3185 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 田 上 昌 義
(TEL. 072-761-9293)

債務超過解消による猶予期間の解除に関するお知らせ

当社は、2017年3月期において債務超過の状況に陥り、株式会社東京証券取引所における上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたが、本日、有価証券報告書を近畿財務局に提出した結果、平成30年3月期において債務超過を解消したことにより、猶予期間入り銘柄から解除されましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

2. 債務超過解消に至った経緯

当社は、2017年3月期において連結債務超過の状況となりましたが、2015年3月よりRIZAPグループ株式会社の傘下に入り進めてきた抜本的な改革の効果が表れ、中核事業のアパレル事業において、かねてより進めてきたブランドの再編に基づくMD体制及び商品企画体制の強化により、幅広い顧客層の獲得が実現し、売上収益は順調に増加しました。

仕入面に関しては、直接輸入の比率を増やすことによって、原価率を改善するとともに商品販売単価の低減も実現しており、新規顧客を獲得しつつ粗利益率も改善しております。その他、商品の発注方法の工夫やリードタイムの短縮により追加発注ニーズに柔軟に対応できる体制を整えるなど、商品面に関する様々な細かい施策を実施した結果、商品の消化率、在庫回転率等の改善も進みました。

販売面に関しては、販売上位の商品を集中的に訴求する戦略や、自社販売サイト、モール系サイト(楽天市場、ZOZO TOWN、SHOPLIST等)の各顧客層のニーズに対応した品揃えの展開を実施する戦略が奏功し、各モール系サイトのランキングに当社グループの商品が上位にランクインするなど好調を維持し、ほとんどの店舗で前年同期比を上回る業績で推移しております。

これらの成果の表れとして、2017年5月には、ファストファッション通販サイト「SHOPLIST」の中で最も栄えある賞である『ベストパートナー賞WOMENグランプリ(2016年度)』を受賞しました。

既存店舗の強化とともに新たな販路の開拓も進めております。当連結会計年度においては、カタログ通販会社の株式会社ベルーナが運営するファッション通販サイト「リュリュ(RyuRyu)」やマガシーク株式会社が運営するレディース通販サイト「OUTLET PEAK(アウトレットピーク)」などの新たなモールでの販売を開始し、さらに、フリマアプリ「メルカリ」のライブ配信機能「メルカリチャンネル」により、お客様に対してライブ動画で商品情報を配信して商品の販売を行うという新たな試みも開始し好評を博しております。

また、AIやビッグデータを活用した最先端のマーケティングテクノロジーの導入も積極的に検討を進めており、更なる事業基盤の強化にも取り組んでおります。

親会社であるRIZAPグループ株式会社(以下、RIZAPグループ)およびそのグループ会社との協業活動も引き続き進めており、当連結会計年度においては、RIZAPグループとの間で、前期より進めておりますRIZAPグループのグループ全体のEC(イーコマース)化推進を加速させるため、当社グループの培ってきたECのノウハウを活かして当社グループがその中心的役割

を担い、ECプラットフォームのプランニング等を受託する契約の締結に至りました。また、RIZAPグループが従前より行っている、グループ各社の商品を優待品とする株主優待に関して、その優待品を掲載し株主からの申込みの受付を行うことができ、かつ、RIZAPグループのグループに属する上場企業が合同で利用できる「RIZAPグループ合同株主優待サイト」の構築等に関する業務委託契約や、RIZAPグループのグループ会社である株式会社パスポートのECを支援する業務委託契約を締結するなど、コンサルティング事業を拡大しております。

以上により、前連結会計年度下半期に営業黒字に転換した勢いのまま、当連結会計年度においても黒字化を達成し、前連結会計年度までより大幅に業績の回復を果たすことができました。

さらに、当連結会計年度においてはM&A戦略も展開し、2017年4月には、当社グループの事業規模の拡大および新しい事業領域への進出のため、ブライダルジュエリーの販売を主な事業とする株式会社トレセンテを連結子会社化したこと等により、2018年3月期において債務超過を解消いたしました。

3. 今後の見通し

当社グループは、2015年3月にRIZAPグループ株式会社（旧健康コーポレーション株式会社）のグループに参入して以降、新しい体制のもとで抜本的な改革を開始し、現在もその改革を推し進めている途上にあります。

基幹事業である衣料品販売事業及び卸売事業におきましては、衣料品等のブランドの再編に基づいたMD体制・商品企画体制の強化、商品の仕入・発注戦略の転換等、商品面に関する各種施策に加え、販売面に関しても販売上位商品への集中的訴求、店舗毎の顧客層に応じた商品展開、WEB広告の強化、ECシステム刷新によるユーザビリティの向上等、販売力の強化を推し進めてまいりましたが、これらの施策を引き続き強化・推進するとともに、さらなるコスト削減にも取り組み、業績の安定化に向けた利益体質への転換を図ってまいります。

さらに、現在はリアル店舗が大阪梅田のHEP FIVE内の1店舗のみですが、今後は立地条件を吟味した上で数店舗の出店も行い、顧客との接点を最大化し夢展望のファンをさらに増やすオムニチャンネル戦略を進めていくことを検討しております。

玩具・雑貨販売事業におきましては、現在の取引先との継続的な関係を維持したうえで、新たな試みの検討も開始し、前期を上回る業績を目指してまいります。

ジュエリー事業におきましては、引き続き集客の改善や商品・ブランド戦略の再構築を進めるとともに、売上や業界におけるシェアを拡大するため、出店地域を増やすことの検討も進めたいと考えており、今期は前期を上回り、黒字化を達成することを目指してまいります。

一方、財務面におきまして、2018年4月16日に発行した、EVO FUNDを割当先とする第7回新株予約権の当社普通株式への行使が着実に実現されるよう対応を図ることで、更なる自己資本の増強を目指してまいります。

なお、2019年3月期の連結業績予想については、2018年5月14日付「2018年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」に記載のとおりであります。

以上